

INFORMATION

J Aながみね 健康管理講演会を実施！！

令和2年10月8日（木）JAながみねしもつ営農生活センター、海南福祉センターにおいて、女性会健康管理講演会が開催され、パーソナルトレーナーであり認知症ケア指導管理士の田邊雅司氏を迎え、「～認知機能を向上させよう～」をテーマに講演会を行いました。

認知症とは、何らかのことが原因で脳機能に不具合が生じ、記憶や思考などの能力が低下していく障害のことで、誰にでも起こる可能性があります。

現在、全国的な高齢化の進行とともに認知症の方も増加している中、厚労省が公表した推計によれば、2025年には、認知症患者数は700万人を超える見込みであり、これは65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症を患う可能性があるとして発表しています。

当日、会場には81名の参加者が集まり、新型コロナウイルスの感染予防として、参加者には検温や手指の消毒、マスク着用の徹底や隣同士の距離の確保などの対策を行いました。

講演会は、認知症に対する正しい理解を深め、最適な運動・食生活を日頃から心掛けることにより、発症リスクが抑えられる予防策をはじめ、耳よりの最新情報を得ることができる内容のご講演をいただきました。

今後も（一社）和歌山県農協共済福祉協会（以下、「福祉協会」という）は、JA・JA共済連と連携し、地域貢献活動を通じて地域との絆を強化し、地域の方々が健康で安心して暮らせる豊かな地域社会づくりに貢献していきます。

実施を希望される場合は、福祉協会までお問合せください。



【講演会の様子】



【体操を実践する様子】